

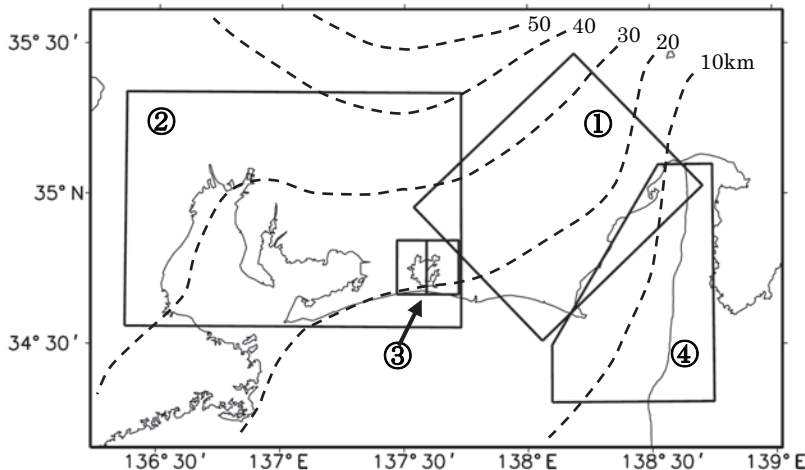
# 東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

(参考)

2015年3月18日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾	
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域	余震 除去
					全域	西側	東側		
短期活動指数	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>3</b>
短期地震回数 (平均)	11 (5.29)	2 (6.82)	12 (13.16)	13 (14.15)	1 (6.16)	0 (2.46)	1 (3.70)	11 (6.06)	2 (3.89)
中期活動指数	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>4</b>
中期地震回数 (平均)	18 (15.87)	15 (20.45)	33 (39.48)	45 (42.44)	5 (12.32)	2 (4.93)	3 (7.39)	18 (12.12)	6 (7.79)

- \* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M $\geq$ 1.1、駿河湾：M $\geq$ 1.4
  - \* クラスタ除去：震央距離が $\Delta r$ 以内、発生時間差が $\Delta t$ 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。  
 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$   
 駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$
  - \* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間  
 浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間
  - \* 基準期間： おおむね長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）発生前の地震活動を基準とする。  
 静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、  
 浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）
- [各領域の説明]
- ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。
  - ② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。
  - ③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。
  - ④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。
- 余震除去：2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除いて活動指数を求めた場合。



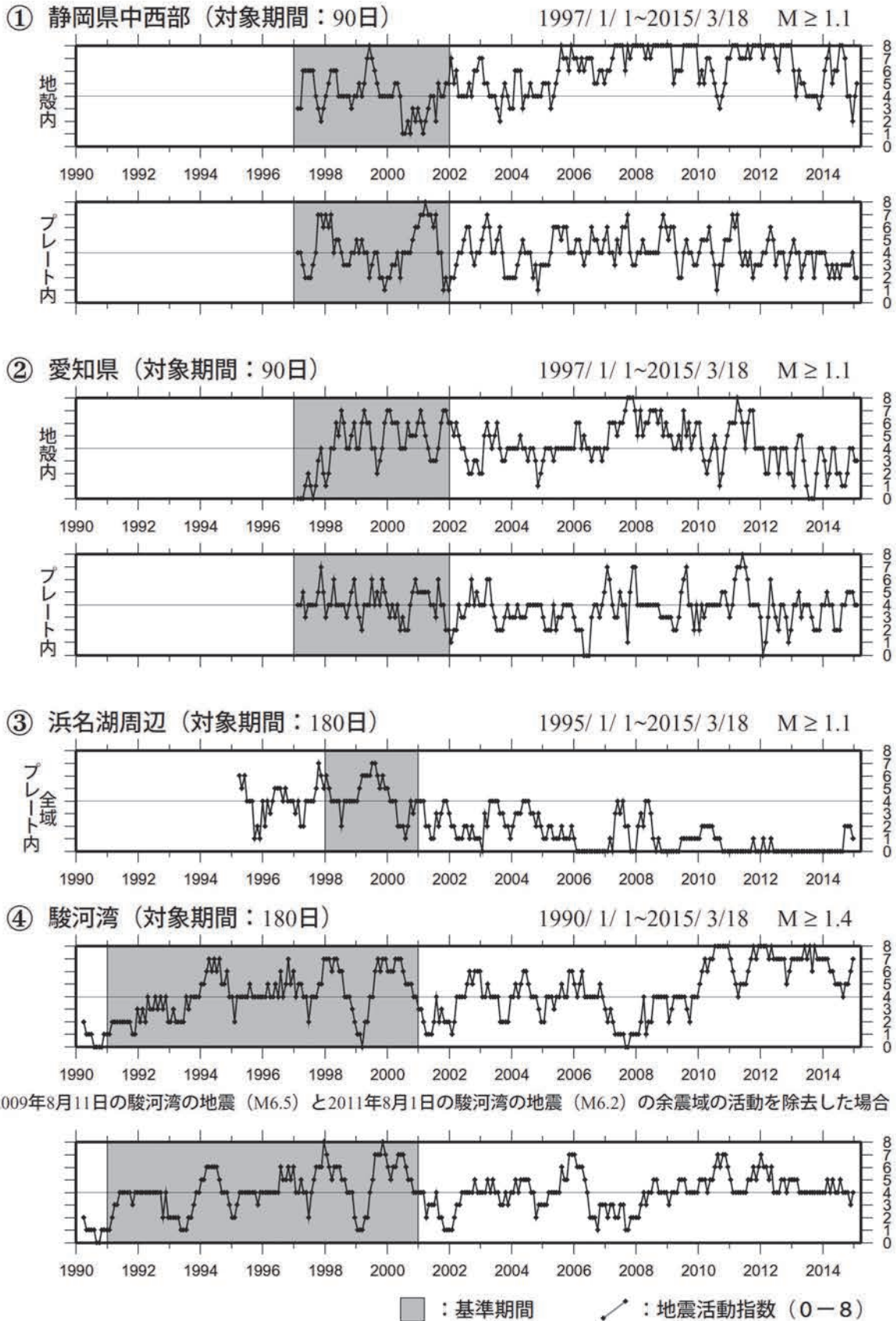
指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	やや多い
6	10	
5	15	ほぼ平常
4	40	
3	15	やや少ない
2	10	
1	4	少ない
0	1	

\* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

## 地震活動指数の推移（中期活動指数）



少ない  
(継続中)

図3 東海地域の地震活動指数の推移

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度の低い状態が続いている。その他の地域では概ね平常レベルである。

気象庁作成